



サルビア

令和3年5月11日

第6号

「命を守る力」を身に付ける

～避難訓練・交通安全教室～

今週は「命を守る力」を身に付けるために大切な行事が2つありました。ご紹介します。

<避難訓練（地震）5／10（月）>

校長からこのような話をしました。

東日本大震災という大きな地震があった時、私は6年生の担任でした。地震が起こった時は専科の先生の理科の授業だったため、私は職員室で卒業に向けての仕事をしていました。突然の大きな揺れ、しばらく待ってもやまない揺れ、私は職員室を飛び出し、中庭を走り抜けて外から理科室に飛び込みました。・・・あの日のことを忘れることはできません。

地震はいつ起こるか分かりません。先生たちが側にいるとは限りません。休み時間だったらどうでしょう。外で遊んでいたかもしれない、教室にいたかもしれない、廊下を歩いていたかもしれない、想像してみましょう。

帰り道だったらどうでしょう。もうすぐお家に着くところかもしれませんが。学校を出てすぐのところかもしれません。自分の通学路を想像してみましょう。

どうでしょう。想像の中で自分の命を守るために考えて動くことができましたか？

時々想像してごらんください。考えてごらんください。今、地震が来たら、どのように身を守るか。考えることが自分の命を守ることに繋がります。

先生方も、考えましょう。今、地震が来たらどのように子どもたちを避難させるか。授業中、授業以外の時間、下校させてすぐかもしれません。

今日は、子どもたちと先生方、全員の訓練です。



教室から校庭へ避難

<交通安全教室5／11（火）>



1・2校時は4年生の自転車試乗訓練、3・4校時は1年生の歩行訓練でした。

進級、入学して丁度1ヶ月、通学にも慣れたり、行動範囲が広がったりする時期です。そして交通事故が増える時期でもあります。交通安全教室でどんなことに気付き、どんなことがわかったかが大切です。ご家庭でも話題にしてみてください。

警察署交通課の方、駐在所勤務の方、交通指導員の方と計6名の皆さんにお力添えをいただきました。

ありがとうございました。

横断歩道は手をまっすぐ挙げて

